

我が社の安全衛生管理活動の紹介

一三北路 株式会社
土木工事部 次長 坂下 淳一

1. はじめに

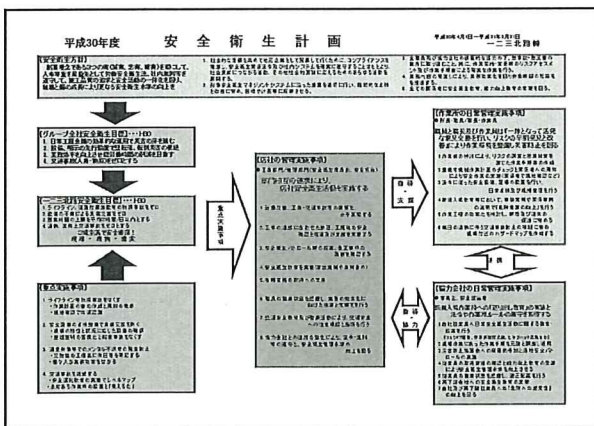
一三北路 株式会社は 1968 年に札幌にて創業を始め当社は創業以来 50 年にわたり、道路維持工事・上下水道工事・道路工事・電力工事など、地域に密着した社会インフラ等工事を数多く施工して参りました。

今日の高度な情報化の進展により生活環境は大きく変化していく中、我が国の少子高齢化と人口減少問題により、地域社会と生活環境のあり方がより大きく変化し、厳しさを増すことと思います。このような変化に迅速に対応し、企業価値をより向上するため、2012 年 7 月に砂子グループとして新たなスタートを始め、世の中がどんなに変化しようともグループ企業として、安全・品質・コンプライアンス・環境などの基本活動を不変に追いつけて参ります。

この度は、当社の安全衛生管理活動についてご紹介いたします。

2. 安全衛生方針

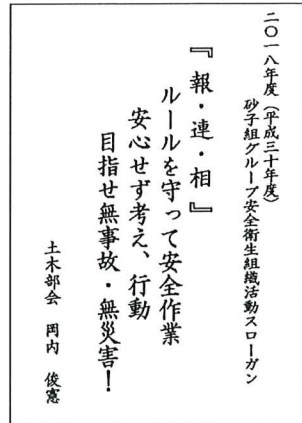
創立理念である 3 つの「実（誠実、忠実、确实）」を礎として人命尊重を最優先として労働安全衛生法、社内規則等を遵守し施工品質の追求と安全活動の一体化を図り、組織と個の成長により更なる安全衛生基準の向上を目指す。



～安全衛生計画～

3. 平成 30 年度安全衛生スローガン

『報・連・相』 ルールを守って安全作業
安心せず考え 行動
目指せ無事故・無災害！



～安全衛生スローガン～

4. 安全衛生活動

1) 毎年作成する安全衛生管理計画の中で年間行事予定を計画し、その予定に基づき行事を実施しております。

安全衛生行事 項目	実施年月	目的	実施者	実施場所	実施日	実施時間	実施回数	実施状況	実施結果
安全衛生教育	4月	安全意識の向上	土木部会	本社	4月1日	9時～12時	1回	○	安全意識の向上が図られた。
安全衛生教育	5月	安全意識の向上	土木部会	本社	5月1日	9時～12時	1回	○	安全意識の向上が図られた。
安全衛生教育	6月	安全意識の向上	土木部会	本社	6月1日	9時～12時	1回	○	安全意識の向上が図られた。
安全衛生教育	7月	安全意識の向上	土木部会	本社	7月1日	9時～12時	1回	○	安全意識の向上が図られた。
安全衛生教育	8月	安全意識の向上	土木部会	本社	8月1日	9時～12時	1回	○	安全意識の向上が図られた。
安全衛生教育	9月	安全意識の向上	土木部会	本社	9月1日	9時～12時	1回	○	安全意識の向上が図られた。
安全衛生教育	10月	安全意識の向上	土木部会	本社	10月1日	9時～12時	1回	○	安全意識の向上が図られた。
安全衛生教育	11月	安全意識の向上	土木部会	本社	11月1日	9時～12時	1回	○	安全意識の向上が図られた。
安全衛生教育	12月	安全意識の向上	土木部会	本社	12月1日	9時～12時	1回	○	安全意識の向上が図られた。

～安全衛生教育・行事予定表～

2) 安全大会の開催

毎年 4 月下旬に当社としての安全大会を開催し、協力会社を含め 150 名ほどが参加し実施しております。

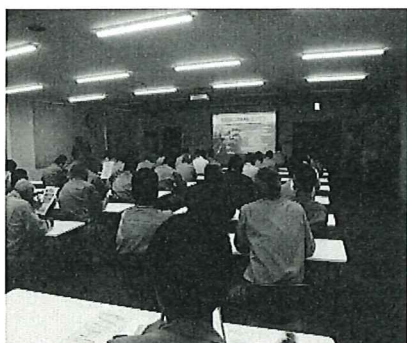
大会では前年度施工協力業者の表彰を行い、外部講師による講演の後、代表社員による安全衛生スローガンを唱和し、安全意識高揚を図っております。



～安全大会実施状況～

3) 安全運転講習会の開催

毎年 2 回（春と秋）、外部講師による全社員参加による、安全運転講習会を開催し、特に若手職員の運転技術の知識習得などにより、安全意識高揚を図っております。



～安全運転講習会の開催～

4) 街頭啓発活動の実施

毎年 2 回の頻度にて、当社社屋前の国道 231 号線にて、通行車両及び歩行者に向けて街頭啓発を実施し、交通事故撲滅を掲げ活動を行っております。



5) 毎月の安全パトロール

当社では全現場対象に 1 回 / 月以上、安全衛生委員会を構成し、全部署合同の安全パトロールを実施し、その後社内イントラネットを通じて、安全パトロールの指示・指

導事項や好事例の発信し、共有を行うシステムを採用しております。

6) 安全週間・衛生週間の行事

当社では安全週間・衛生週間の初日に社長メッセージの伝達を行い、社長をはじめ役職員によるパトロールを実施し全社品質目標である『社会の環境変化を受け止め、状況に即応して迅速に行動し安全と品質の確保を基本とした「本物のモノづくり」に本腰を入れて取り組む』を確認し、災害防止活動に取り組んでおります。



～首脳者安全パトロール実施状況～

5. おわりに

近年では、大型工事の受注増加や工事内容の複雑化、台風や地震による災害発生、さらに若手入職者の増加に伴い、様々な環境でモノづくりを展開していかななくてはならないが、こうした中で現場従事者の高齢化や現場技術者の未熟さなど様々な要因が我々の安全職場を脅かす恐れがあるが、当社では各現場で ICT を有効活用し更なる独自の安全管理を進めています。

こうした、様々な安全活動を通じて「安全で安心した」職場づくりを展開してまいります。



～ ICT (VR) を活用した安全管理事例～

